

「5S実践基礎講座」成果報告会・概要紹介

当センターでは、本県のものづくり基盤を支える優れた産業人材を育成するため、製造業に特化した「いわてものづくりアカデミー」を開催しています。

その中でも「5S実践基礎講座」は、座学にとどまらず、参加企業が自社の工場現場で「整理・整頓・清掃・清潔・躰」の5S活動を行う実践的コースとなっており、この活動を通じて、参加企業の工場における問題の「見える化」とその問題を解決するための改善の実施を目的としています。

約5ヶ月間にわたる研修では、個別企業訪問指導や集合研修によるフォローアップを行うことにより、参加企業の5S活動を支援してきました。

活動内容

開催期間	5月27日～10月16日（約5ヶ月間）
受講企業数・受講者数	4社（株）飯島産業岩手工場、（有）センウッドコーポレーション、（株）デンロコーポレーション 東北ガルバセンター、ツインスターテクノロジー（株）三陸工場）・11名
講師	（財）日本生産性本部 主席経営コンサルタント 高田 晴弘 氏、武川 俊幸 氏
トレーナー	竹内真空被膜（株） 大松 好則 氏
サブトレーナー	（株）小山田工業所 中島 勝 氏、（株）ワイ・デー・ケー YDKメカトロニクス 菊池 英史 氏
集合研修（5/27）	5S改善の必要性、5S改善と見える化の進め方、5S事例研究、2S改善シート・改善実施プランの作成と発表 等
訪問指導 第1回（6/29～30） 第2回（9/2、10）	講師・トレーナー等の個別企業訪問による実践指導 （第2回はトレーナー及びサブトレーナーのみの指導）
フォローアップ（7/27）	各社の5S改善状況の中間報告とそれに対する講師・トレーナー等の指導

成果報告会概要

成果報告会は10月16日に、各社プレゼンテーション方式で行いました。報告会には受講者のほか上司なども参加し、その報告内容に真剣に聴き入っていました。各社それぞれ4～6テーマを掲げ、各テーマについて、①「まず何をやるか決める」②「実施」③「問題の発見」④「問題の検討」⑤「問題の解決」というプロセスを繰り返して取り組み、現場カイゼンの成果を上げることができました。以下に各社の主な成果を挙げます。

今後、各社ともこれまでの取り組みを継続・水平展開する等、更なるレベルアップを期待しております。

各社改善事例



改善前



改善後

1. ミシン倉庫の整理整頓（株）飯島産業 岩手工場）
⇒ 不必要なミシン（大・小8台）を整理し、通路を2本確保するとともに新たに断ち置場を設置。在庫ミシンにカバーをかけた。



改善前



改善後

2. ローラー棚の整理整頓（有）センウッドコーポレーション）
⇒ 棚に表示をつけ、奥に置いていたものを手前に置き、必要な工具を姿置きにした。探す時間が1分→10秒に短縮



改善前



改善後

3. 工具置場の整理整頓（ツインスターテクノロジー（株） 三陸工場）
⇒ 必要工具のみを姿置きするとともに、置き場所を、当該工具を使用するリフターとした。工具棚分0.72㎡が活スペースとなった。



成果報告会の様子